心理学Ⅱ

科目ナンバリング　PSY-102
【Ⅱ】　選択　2単位

新原　将義

1. 授業の概要（ねらい）

我々の社会には，心理学のコトバが溢れている。学校では「学び」や「理解」を求められ，足し算から四則演算，九九，鶴亀算と，徐々に難しくなっていく「発達段階」に合わせられたカリキュラムを受ける。喧嘩をすると，先生たちはお友達の「気持ち」を「考える」ことの重要性を説く。「思春期」を迎えると，私たちは「恋」に落ち，その「思い」を伝えるか伝えないかに頭を「悩ま」せる。就職活動では，会社は私たちがどのような「スキル」を持っているのか，仕事にどのような「モチベーション」を持っているのかを問う。そして大学でも社会でも，あるいは家庭でも，私たちは「空気を読む」ことを求められる。このように我々の生活は，心理学のコトバなしではもはや成り立たない。社会が「心理学化」されていると言ってもよいだろう。

この授業では，前期「心理学Ⅰ」（新原将義担当）から引き続き、心理学の基礎知識だけでなく，我々の日常生活のなかにあふれる様々な事象から，「心理学化」された世界と我々の関係について考える。特に後期の授業では、心理学の諸理論が活用されている様々な実践現場を紹介することで、心理学と我々の生活との関係について理解を深める。具体的には、知能検査や人格検査の開発の歴史、学力テストの現在、裁判における証言研究、学校教育における学習研究、発達障害をめぐる議論などを取り上げる。

またこの授業では、SNSを用いて、教員と学生がリアルタイムでやり取りをしながら講義を進めていく。各自、スマートフォンを持参して授業に臨むこと。

なお，この講義の内容は春期開講の「心理学Ⅰ」（担当：新原将義）の内容と大きく関連する。よって「心理学Ⅰ」との連続受講を推奨する。

2. 授業の到達目標

①学生は，文化心理学とはどういう考え方なのかについて説明できる。
②学生は，自らの日常生活について，社会構成主義の観点から振り返り，他者に説明することができる。

3. 成績評価の方法および基準

期末テスト　100%

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

準備学習については，授業内で適宜指示を行う。

6. その他履修上の注意事項

本授業では、TwitterなどのSNSを用いた対話形式の講義を行う。各自スマートフォンを持参するほか、必要であればモバイルバッテリーなどを用意すること。

7. 授業内容

【第1回】　オリエンテーション
【第2回】　知能①　知能検査とはなにか
【第3回】　知能②　知能検査の開発と知能研究の歴史
【第4回】　知能③　学力テストの現在と大学入試・大学教育改革
【第5回】　心理検査①　心理尺度とはなにか
【第6回】　心理検査②　性格と性格検査
【第7回】　裁判の心理学①　「十二人の怒れる男」
【第8回】　裁判の心理学②　証言と記憶
【第9回】　裁判の心理学③　ネットワークする記憶
【第10回】　教育と心理学①　行動主義による学習研究
【第11回】　教育と心理学②　行動主義への反省と現在の学習研究
【第12回】　教育と心理学③　発達障害とはなにか
【第13回】　教育と心理学④　障害の社会的構成
【第14回】　総括　フォークサイコロジーを乗り越えるために
【第15回】　期末試験